

ヒメハナワラビ

Botrychium lunaria (L.) Sw.

ハナヤスリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

現在、県内で知られている生育地は1か所のみ。大野市の亜高山帯が生育地。

分 布

全国分布は北海道、本州。県内分布は大野市のみ。

種の特徴

夏緑性のシダ類。共通柄はほぼ葉身と同長。栄養葉は単羽状、羽片は扇形で短い柄をもつ。孢子葉は3回羽状、葉は高さ5～15 cm。亜高山の草原に生育している。

生育を脅かす要因

産地局限、踏みつけ、採取圧。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ハマハナヤスリ

Ophioglossum thermale Kom. var. *thermale*

ハナヤスリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で今まで確認されている生育地は3か所で、どこも草地である。時には芝について分布を拡大している。草地の管理をしないと減少する。

分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は敦賀市、あわら市、坂井市、勝山市。

種の特徴

日当たりのよい砂地の草地に生育する小型の夏緑性草本。茎は約15 cmで1枚の葉をつける。茎の途中から孢子のう穂を出す。葉の基部はしだいに狭くなる。

生育を脅かす要因

草地の管理放棄。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1990）、中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○					○		○		○		

ヒロハハナヤスリ

Ophioglossum vulgatum L.

ハナヤスリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀であったが、近年知られている生育地は森林伐採や、開発によって減少している。

分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は嶺北地方。

種の特徴

夏緑性のシダ類。葉の高さ25 cm前後に達する、栄養葉の基部はほとんど柄がなく、切形かやや心形で孢子葉の基部を包むような感じになる。森林の林床、林縁に生育。

生育を脅かす要因

森林伐採、開発、採取圧。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○			○						